

※ ここに挙げた「文楽参考資料」は、文楽をより詳しく知りたい皆様の一助となるような入門書・研究書等を、平成13年以降の発行に限定して一覧にしたものです。

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
入門書				
14歳からの文楽のすゝめ	令和4年4月	竹本織太夫＝監修	実業之日本社	
和楽 2022年2・3月号(第22巻第1号)	令和4年1月		小学館	大特集〈歌舞伎・文楽をもっともっと楽しむキーワード100!!〉
文楽徘徊	令和3年11月	鈴木創士	現代思潮新社	平成24～30年に国立文楽劇場のウェブサイト「文楽かんげき日誌」に連載したエッセー
歴史からでも楽しい! おもしろ日本音楽	令和3年11月	釣谷真弓	東京堂出版	
伝統芸能の革命児たち	令和2年11月	九龍ジョー	文藝春秋	『文學界』連載の「若き藝能者たち」より。(6) 竹本織太夫についての評論
文楽ナビ	令和2年9月	渡辺保	マガジンハウス	「酒屋」「堀川」「引窓」「野崎村」「十種香」「鮎屋」「太功記十冊目」「寺子屋」「七段目」「俊寛」「金殿」「渡海屋 大物浦」「熊谷陣屋」「合邦」「道明寺」「山の段」の見どころ聞きどころを解説
小説で読む名作戯曲 曾根崎心中	令和2年6月	黒澤はゆま＝著	光文社	
日本演劇思想史講義	令和2年4月	西堂行人	論創社	
(増補改訂版 絵で見てわかるはじめての古典8) 能・狂言・歌舞伎・人形浄瑠璃	令和2年2月	田中貴子・石井正己＝監修	学研プラス	
ビジネスパーソンのための文楽のすゝめ	令和1年12月		実業之日本社	(6) 竹本織太夫＝監修
知っておきたい●日本の古典芸能 忠臣蔵	令和1年10月	瀧口雅仁＝編著	丸善出版	
もう少し浄瑠璃を読もう	令和1年7月	橋本治	新潮社	『小栗判官』『出世景清』『曾根崎心中』『夏祭浪花鑑』『双蝶々曲輪日記』『摂州合邦辻』『一谷嫩軍記』『伊賀越道中双六』
日本文化 ビジュアル解体新書	令和1年6月	山本素子/小川かりん＝イラスト	S Bクリエイティブ	S Bビジュアル新書
マンガでわかる文楽	平成31年3月	マンガでわかる文楽編集部＝編/上島カンナ＝マンガ	誠文堂新光社	佳山泉＝執筆協力、人形浄瑠璃文楽座＝協力
(ストーリーで楽しむ文楽・歌舞伎物語1) 菅原伝授手習鑑	平成31年2月	金原瑞人＝著/佐竹美保＝イラスト	岩崎書店	
(ストーリーで楽しむ文楽・歌舞伎物語4) 曾根崎心中	平成31年1月	令丈ヒロ子＝著/鈴木淳子＝イラスト	岩崎書店	
(ストーリーで楽しむ文楽・歌舞伎物語3) 義経千本桜	平成30年12月	越水利江子＝著/十々夜＝イラスト	岩崎書店	
歌舞伎と文楽のエンパク玉手箱	平成30年3月	金昭賢＝編著	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	児玉竜一＝監修、企画展「歌舞伎と文楽のエンパク玉手箱」図録
かぶきがわかるねこづくし絵本3 菅原伝授手習鑑	平成30年3月	吉田愛＝文・絵	講談社	瀧晴巳＝解説
とと出会う本 現代を生きる芸能・工芸・建築・祈り	平成30年2月	小野幸恵	アルテスパブリッシング	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
文楽のすゝめ	平成30年1月		実業之日本社	(6) 竹本織太夫=監修
Discover Japan_CULTURE ニッポンの伝統芸能・狂言・歌舞伎・文楽	平成29年12月		榎(エイ)出版社	エイムック
かぶきがわかるねこづくし絵本2 義経千本桜	平成29年11月	吉田愛=文・絵	講談社	瀧晴巳=解説
英訳付きニッポンの名前図鑑 和服・伝統芸能	平成29年9月	淡交社編集部=編	淡交社	市田ひろみ=監修
山川静夫の文楽思い出ばなし	平成29年8月	山川静夫	岩波書店	国立劇場文楽公演解説書(平成22~29年)に連載した「文楽思い出ばなし」を収録
かぶきがわかるねこづくし絵本1 仮名手本忠臣蔵	平成29年7月	吉田愛=文・絵	講談社	瀧晴巳=解説
(「知」のナビ事典) 日本の伝統芸能	平成29年6月	日外アソシエーツ=編	日外アソシエーツ	
人形浄瑠璃/文楽外題づくし	平成29年5月	人形浄瑠璃文楽座=企画・編集・外題解説	工作舎	鳥越文蔵=監修、北浦皓弐=文楽勸亭流
(日本の伝統芸能を楽しむ) 文楽	平成29年4月	岩崎和子	借成社	
日本の伝統芸能展	平成28年11月	公益財団法人三井文庫三井記念美術館	公益財団法人三井文庫三井記念美術館	特別展「国立劇場開場50周年記念 日本の伝統芸能展」図録
日本を知る〈芸能史〉上巻 アジアの視点	平成28年10月	田口章子=編著	雄山閣	京都造形芸術大学内春秋座「公開連続講座 日本芸能史」より。人形浄瑠璃(講師:森谷裕美子)
日本文学全集 第10巻	平成28年10月	池澤夏樹=個人編集/いとうせいこう・桜庭一樹・三浦しをん・いしいしんじ・松井今朝子=訳	河出書房新社	『曾根崎心中』『女殺油地獄』『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』『仮名手本忠臣蔵』の新訳
茶の湯ブンガク講座—近松・芭蕉から漱石・谷崎まで—	平成28年8月	石塚修	淡交社	淡交新書
大研究 歌舞伎と文楽の図鑑	平成28年3月	国土社編集部/児玉竜一=監修	国土社	
義太夫を聴こう	平成27年10月	橋本治	河出書房新社	平成20年開催の「義太夫を音楽としてよみがえらせる会~略称:道行の会~」で語られた案内を元に書き下ろし
新版 あらすじで読む名作文楽50選	平成27年9月	高木秀樹=著/青木信二=写真	世界文化社	平成17年発行『あらすじで読む 名作文楽50』を加筆再構成した改訂版
江戸の経済事件簿 地獄の沙汰も金次第	平成27年9月	赤坂治績	集英社	集英社新書0800D
歌舞伎に親しむ 私の見かた・読みかた	平成27年8月	上田由香利	和泉書院	
みんなが知りたい!日本の「ユネスコ 無形文化遺産」がわかる本	平成27年6月	カルチャーランド	メイツ出版	まなぶっく
文楽に親しむ	平成27年4月	高木浩志	和泉書院	『上方芸能』(昭和60~63年)に連載した芸談と、国立文楽劇場文楽公演解説書(平成15~25年)に連載した演出・監修、国立劇場文楽公演解説書(平成12~18年)に連載した文楽まめ知識を収録
(新版 日本の伝統芸能はおもしろい) 桐竹勘十郎と文楽を親よう	平成27年2月	小野幸恵=著/(3) 桐竹勘十郎=監修	岩崎書店	平成14年発行『(日本の伝統芸能はおもしろい⑤) 吉田蓑太郎の文楽』を増補した改訂版

(叢書名) 書名	発行年月	著者・编者	発行元	備考
文楽手帖	平成26年8月	高木秀樹＝著／青木信二＝写真	KADOKAWA	角川ソフィア文庫、平成17年世界文化社発行『あらずじで読む 名作文楽50』を加筆修正のうえ再構成して文庫化
(京都芸術センター叢書1) 継ぐこと・伝えること	平成26年8月	萩原麗子・横田盤＝編集	京都芸術センター	豊竹呂勢大夫・(2) 鶴沢藤蔵・吉田一輔の鼎談
にっぽん芸能史	平成26年5月	稲田和浩	映人社	
文楽へようこそ	平成26年4月	(3) 桐竹勘十郎・吉田玉女 (2) 吉田玉男	小学館	豊竹呂勢大夫・(6) 鶴沢燕三のインタビューも収録
(1冊でわかるポケット教養シリーズ) 邦楽入門	平成25年10月	西川浩平	ヤマハミュージックメディア	
上方芸能今昔がたり—昭和の舞台覚え書き	平成25年3月	山田庄一	岩波書店	
(よんでしらべて時代がわかる ミネルヴァ日本歴史人物伝) 近松門左衛門—上方の人情をえがいた浄瑠璃作家	平成25年2月	大西学＝監修／西本鶏介＝文／野村たかあき＝イラスト	ミネルヴァ書房	
(ドナルド・キーン著作集 第6巻) 能・文楽・歌舞伎	平成25年1月	ドナルド・キーン＝著／吉田健一・松宮史朗＝訳	新潮社	平成13年講談社発行本(講談社学術文庫)を収録
明治演劇史	平成24年11月	渡辺保	講談社	
浄瑠璃を読もう	平成24年7月	橋本治	新潮社	『仮名手本忠臣蔵』『義経千本桜』『菅原伝授手習鑑』『本朝廿四孝』『ひらかな盛衰記』『国性爺合戦』『冥途の飛脚』『妹背山婦女庭訓』
(せかい伝記図書館25) 徳川家康 松尾芭蕉 近松門左衛門	平成24年6月	有吉忠行＝著／子ども文化研究所＝編	いずみ書房	
ぶんらくの本	平成24年3月	国立劇場調査養成部・金森和子＝編集	日本芸術文化振興会	
上方伝統芸能あんない	平成23年10月	堀口初音	創元社	上方歌舞伎・文楽・上方落語・能・狂言・上方講談・浪曲・上方舞の案内
あやつられ文楽鑑賞	平成23年9月	三浦しをん	双葉社	双葉文庫、平成19年5月ポプラ社発行本の文庫版
こんなに面白かった! 「ニッポンの伝統芸能」	平成23年7月	齋藤孝	PHP研究所	PHP文庫
ニッポンの伝統芸能	平成23年6月	高橋俊宏＝編集	樫(エイ)出版社	歌舞伎・能・狂言・文楽の案内
文楽ハンドブック 第3版	平成23年2月	藤田洋＝編	三省堂	「文楽名鑑」有、平成6年・平成15年発行本の改訂版
三毛猫ホームズの文楽夜囃	平成22年10月	赤川次郎＝著／(3) 桐竹勘十郎＝監修	角川書店	
和を継ぐものたち	平成22年10月	小松成美	小学館	小学館文庫、平成18年発行本の文庫化、吉田玉翔インタビュー有
NHK 日本の伝統芸能	～平成22年3月	日本放送協会＝編	日本放送出版協会	文楽鑑賞入門など、毎年講座の放送にあわせ改訂
(シリーズアーツマネジメント) 音で観る歌舞伎—舞台裏からのぞいた伝統芸能—	平成21年11月	八板賢二郎	新評論	
江戸演劇史 (上・下)	平成21年7月	渡辺保	講談社	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
上方芸能 172号	平成21年6月		『上方芸能』編集部	特集「明日への文楽—国立文楽劇場25周年」
英訳付き 1冊でわかる日本の古典芸能	平成21年3月	中村雅之	淡交社	能・狂言・文楽・歌舞伎・雅楽・神楽・声明・日本舞踊・琉球舞踊・寄席芸・日本の楽器の解説
(光村の国語 わかる、伝わる、古典のこころ①) 物語・随筆・説話・伝統芸能を楽しむ 16のアイデア	平成21年1月	工藤直子・高木まさき＝監修	光村教育図書	
熱烈文楽	平成20年5月	中本千晶	三一書房	
日本古典芸能史	平成20年4月	今岡謙太郎	武蔵野美術大学出版局	
もっと知りたい上方文化	平成20年1月	日本経済新聞社＝編	日本経済新聞出版社	
赤川次郎の文楽入門～人形は口ほどにもものを言い	平成19年8月	赤川次郎	小学館	小学館文庫、平成16年発行本に加筆した文庫版
古典芸能てんこ盛り	平成19年4月	中村雅之＝文／安西水丸＝絵	淡交社	
(あたらしい教科書13) 古典芸能	平成19年4月	金原瑞人＝監修／豊竹咲甫大夫(6) 竹本織太夫)＝協力	ブチグラフィック	歌舞伎・狂言・能・文楽・落語の案内
(ポプラディア情報館) 伝統芸能	平成19年3月	三隅治雄＝監修	ポプラ社	歌舞伎・能・狂言・文楽・雅楽・邦楽・寄席芸・琉球芸能の案内
日本古典への誘い100選 II	平成19年3月	諏訪春雄・山折哲雄・芳賀徹・小松和彦＝監修	東京書籍	『国性爺合戦』(羽賀さやか)、『菅原伝授手習鑑』(鏡味貴美子)
(週刊朝日百科) 週刊人間国宝34・35 芸能・文楽1・2	平成19年1・2月		朝日新聞社	
(ビジュアル版 日本の古典に親しむ⑩) 仮名手本忠臣蔵	平成18年12月	戸板康二	世界文化社	初出は昭和50年発行『グラフィックス版日本の古典⑩ 仮名手本忠臣蔵』
日本古典への誘い100選 I	平成18年9月	諏訪春雄・山折哲雄・芳賀徹・小松和彦＝監修	東京書籍	『心中天の網島』(神田通子)、『仮名手本忠臣蔵』(荒木裕子)
改訂版 古典芸能楽々読本 はじめての歌舞伎、文楽、能、狂言	平成18年5月	井上由理子	アートダイジェスト	平成11年発行本の改訂版
(生活人新書182) 文楽のツボ	平成18年5月	葛西聖司	日本放送出版協会	
舞台裏おもて 歌舞伎・文楽・能・狂言	平成18年4月	山田庄一・(3) 吉田襄助・大蔵弥太郎＝監修／岩田アキラ＝写真	マール社	
観劇にやくだつ 舞台芸術「表」「裏」絵事典 小道具から舞台装置まで	平成18年2月	織田紘二＝監修	PHP研究所	
「通」になれる 古典芸能を楽しむ本 落語・歌舞伎から能・狂言まで	平成17年12月	日本博学倶楽部	PHP研究所	PHP文庫
(文化研究シリーズ) 多様性と伝統 日本の演劇文化	平成17年8月	東晴美	オセアニア出版社	
文楽どんまい	平成17年6月	亀岡典子	淡交社	産経新聞連載記事に聞き書き・インタビュー等を加筆
豊竹咲甫大夫と文楽へ行こう	平成16年12月	豊竹咲甫大夫(6) 竹本織太夫)	旬報社	旬報社まんぼうシリーズ
日本の古典芸能における演出	平成16年9月	小山弘＝編	岩波書店	山田庄一「文楽の演出」を収録
上方芸能 152号	平成16年6月		『上方芸能』編集部	特集「文楽の今をみる眼—国立文楽劇場20周年」
舞台宇宙の住人たち	平成16年5月	持田諒／岩田アキラ＝写真	惜水社	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
(物語で学ぶ日本の伝統芸能) 四 文楽	平成16年4月	平島高文＝監修／江南真理＝執筆	くもん出版	『妹背山婦女庭訓』『菅原伝授手習鑑』『冥途の飛脚』『五條橋』の現代語訳と鑑賞、及び名作紹介
(劇場に行こう) 文楽にアクセス	平成15年10月	松平盟子	淡交社	
こんなにも面白い 古典芸能入門	平成15年7月	博学こだわり倶楽部＝編	河出書房新社	KAWADE 夢文庫
歌舞伎・文楽の見方が面白いほどわかる本	平成15年4月	七海友信	中経出版	
見学体験おもしろ情報3 歴史と文化を調べる	平成15年3月	次山信男＝監修	リブリオ出版	歴史博物館・遺跡・城・歌舞伎・能・文楽・祭り
わくわく私の文楽	平成14年9月	谷野優子	手鞠文庫	
能楽 文楽 歌舞伎 日本の伝統芸能への誘い	平成14年8月	浦田健次郎＝監修／児玉竜一＝編著	教育芸術社	
(21世紀によむ日本の古典16) 近松門左衛門集	平成14年4月	諏訪春雄＝著／宮本能成＝絵	ポプラ社	『出世景清』『丹波与作』『国性爺合戦』『女殺油地獄』の現代語訳
(文春新書228) 文楽の女たち	平成14年2月	大谷晃一	文藝春秋	
文楽に連れてって!	平成13年11月	田中マリコ	青弓社	
研究書				
近松半二一奇才の浄瑠璃作者	令和4年5月	原田真澄＝編	春陽堂書店	早稲田大学演劇博物館2022年度春季企画展
義太夫年表 昭和篇 第6巻	令和3年11月	国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会＝編	和泉書院	昭和46～56年
源氏物語を開く一専門を異にする国文学研究者による論考54編	令和3年3月	久保朝孝＝編	武蔵野書院	黒石陽子「空蟬 近松門左衛門作『大経師昔暦』考」所収
(シリーズ<日本語の語彙>4) 近世の語彙—身分階層の時代—	令和2年8月	小野正弘＝編	朝倉書店	矢島正浩「浄瑠璃の語彙」所収
古浄瑠璃・説経研究 近世初期芸能事情 上巻 街道の語り物	令和2年6月	阪口弘之	和泉書院	
古浄瑠璃・説経研究 近世初期芸能事情 下巻 近世都市芝居事情	令和2年6月	阪口弘之	和泉書院	
近代芸能文化史における『壺坂霊験記』—生人形から浄瑠璃、そして歌舞伎・講壇・浪花節へ	令和2年2月	細田明宏	ひつじ書房	シリーズ文化研究
近世演劇の享受と出版	令和1年12月	大橋正叔	八木書店出版部	
忠臣蔵の起源	令和1年12月	柿崎輝彦	幻冬舎	幻冬舎ルネッサンス新書
義太夫年表 昭和篇 第5巻	令和1年10月	国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会＝編	和泉書院	昭和36～45年
明治・大正 東京の歌舞伎興行 その「継続」の軌跡	令和1年7月	寺田詩麻	春風社	龍谷叢書
国文学概論	令和1年6月	濱田啓介	京都大学学術出版会	
日本の舞台芸術における身体—生と死、人形と人工体—	平成31年3月	ボナヴェントウーラ・ルペルティ	晃洋書房	
鴻池幸武文楽批評集	平成31年3月	多田英俊＝編著	大阪大学出版会	
神舞い人形 淡路人形伝統の生と死、そして再生	平成30年7月	ジェーンマリー・ロー／齋藤智之＝訳	齋藤智之	
東大教授の「忠臣蔵」講義	平成29年12月	山本博文	KADOKAWA	角川新書
竹田からくりの研究	平成29年10月	山田和人	おうふう	
義太夫年表 昭和篇 第4巻	平成29年9月	国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会＝編	和泉書院	昭和30～35年

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
演劇研究の核心 人形浄瑠璃・歌舞伎から現代演劇	平成29年8月	法月敏彦	八木書店古書出版部	
近世文学史研究2 十八世紀の文学	平成29年6月	飯倉洋一＝監修	ペリかん社	
古典文学の常識を疑う	平成29年6月	松田浩・上原作和・佐谷眞木人・佐伯孝弘＝編	勉誠出版	
義太夫節の語りにおける規範と変形—地合の音楽学的研究—	平成29年3月	山田智恵子	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター研究叢書2
義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 索引12『赤沢山伊東伝記』自立語索引	平成29年1月	上野左絵・坂本清恵＝編	義太夫節正本刊行会言語研究班	
近世文学史研究1 十七世紀の文学	平成29年1月	鈴木健一＝監修	ペリかん社	黒石陽子「十七世紀の人形浄瑠璃制作」を所収
文楽式人形操法と浄瑠璃との関係に関する総合的研究	平成28年9月	細田明宏(研究代表者)	細田明宏(帝京大学)	二〇一三—一五年度科学研究費補助金〈基盤研究(C)〉研究成果報告書
文楽の日本 人形の身体と叫び	平成28年2月	フランソワ・ビゼ＝著／秋山伸子＝訳	みずず書房	
義太夫年表 昭和篇 第3巻	平成27年10月	国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会＝編	和泉書院	昭和21～29年
三味線音楽の旋律型研究—町田佳聲をめぐって—	平成27年3月	山田智恵子・大久保真利子＝編	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター研究報告9
上方芸能 193号	平成26年9月		『上方芸能』編集部	特集「文楽を支える—国立文楽劇場30周年と竹本住大夫の引退」
豊竹山城少掾展	平成25年11月	小島智章＝編	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	企画展「豊竹山城少掾展」図録
義太夫年表 昭和篇 第2巻	平成25年10月	国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会＝編	和泉書院	昭和12～20年
(上方文化講座) 義経千本桜	平成25年8月	大阪市立大学文学研究科「上方文化講座」企画委員会＝編	和泉書院	文楽技芸員と研究者との共同による作品研究。「『義経千本桜』関連資料(増補物ほか) 解題と翻刻」「『義経千本桜』主要参考文献・資料」有
文楽の歴史	平成25年6月	倉田喜弘	岩波書店	岩波現代文庫(学術295)
義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 索引8『信州姨捨山』自立語索引	平成24年10月	上野左絵・佐藤麻衣子・坂本清恵＝編	義太夫節正本刊行会言語研究班	
最新 歌舞伎大事典	平成24年7月	宮澤慶秀・藤田洋＝監修	柏書房	
上方芸能 184号	平成24年6月		『上方芸能』編集部	特集「文楽を守れ!—132氏からの熱いメッセージ」
「菅原伝授手習鑑」精読—歌舞伎と天皇	平成24年4月	犬丸治	岩波書店	岩波現代文庫(文芸199)
浄瑠璃と謡文化—宇治加賀掾から近松・義太夫へ—	平成24年3月	田草川みづき	早稲田大学出版部	
二〇世紀における人形浄瑠璃の総合的研究	平成24年3月	細田明宏(研究代表者)	細田明宏(帝京大学)	二〇〇八—一一年度科学研究費補助金〈基盤研究(C)〉研究成果報告書
義太夫年表 昭和篇 第1巻	平成24年3月	国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会＝編	和泉書院	昭和2～11年
岩佐又兵衛風絵巻群と古浄瑠璃	平成23年12月	深谷大	ペリかん社	
日本の楽劇	平成23年12月	横道万里雄	岩波書店	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
(早稲田大学学術叢書19) 人形浄瑠璃のドラマツルギー—近松以降の浄瑠璃作者と平家物語—	平成23年9月	伊藤りさ	早稲田大学出版部	
義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 索引9『鬼一法眼三略巻』自立語索引	平成23年5月	佐藤麻衣子・上野左絵・坂本清恵＝編	義太夫節正本刊行会言語研究班	
還ってきた文楽フィルム『日本の人形劇—人形浄瑠璃』研究報告	平成23年3月	内山美樹子＝監修／武田潔＝編	早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム	
権藤芳一 上方芸能を語る—能楽・文楽・歌舞伎、そして武智鉄二—	平成23年3月	上方芸能研究会＝編著	立命館大学アート・リサーチセンター上方芸能研究会	文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ」拠点(立命館大学)上方芸能研究会(二〇〇七年度～二〇一〇年度)報告書
平成22年度特別展 仮名手本忠臣蔵の世界	平成22年11月	赤穂市立歴史博物館	赤穂市立歴史博物館	特別展「仮名手本忠臣蔵の世界」図録
浄瑠璃「莠伶人吾妻雛形」翻刻	平成22年10月	棚橋利光＝翻刻	棚橋利光	
歌舞伎登場人物事典(普及版)	平成22年7月	河竹登志夫＝監修／古井戸秀夫＝編	白水社	平成18年発行本の普及版
浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演	平成22年5月	鎌倉恵子	森話社	
歌舞伎〈通説〉の検証	平成22年4月	今尾哲也	法政大学出版局	
古典芸能作品集内容総覧	平成22年4月	日外アソシエーツ＝編	日外アソシエーツ	
義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 索引1『出世握虎稚物語』自立語索引	平成22年3月	坂本清恵・佐藤麻衣子・上野左絵＝編	義太夫節正本研究會言語研究班	
文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—	平成22年2月	内山美樹子	早稲田大学出版部	
(新典社新書48) 初代都太夫—中の浄瑠璃—音曲に生きた元住職—	平成22年1月	小俣喜久雄	新典社	
並木宗輔展—浄瑠璃の黄金時代—	平成21年12月	飯島満・永井美和子＝編集／内山美樹子＝総監修	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	「並木宗輔展」図録
大系真宗史料 伝記編〈4〉真宗浄瑠璃	平成21年9月	真宗史料刊行会＝編	法蔵館	
(上方文化講座) 菅原伝授手習鑑	平成21年8月	大阪市立大学文学研究科「上方文化講座」企画委員会＝編	和泉書院	文楽技芸員と研究者との共同による作品研究。「『菅原伝授手習鑑』増補上演年表」、「『菅原伝授手習鑑』増補物解題と翻刻」、「『菅原伝授手習鑑』主要参考文献・資料」有
(日本史リブレット91) 江戸の浄瑠璃文化	平成21年8月	神田由築	山川出版社	
淡路人形浄瑠璃と文楽の歴史探訪	平成21年8月	大江恒雄	神戸新聞総合出版センター	
浄瑠璃本史研究 近松・義太夫から昭和の文楽まで	平成21年2月	神津武男	八木書店	「近松没後義太夫節初演作品一覧(未定稿)」有
國文學 解釈と教材の研究 第53巻第15号	平成20年10月		學燈社	特集「文楽—人形浄瑠璃への招待—」
歌舞伎 研究と批評 40	平成20年9月	歌舞伎学会	歌舞伎学会	特集「吉田玉男」
浄瑠璃御前物語の研究	平成20年8月	信多純一	岩波書店	
(歴史と古典) 仮名手本忠臣蔵を読む	平成20年8月	服部幸雄＝編	吉川弘文館	
真宗関係浄瑠璃展開史序説—素材の時代—	平成20年3月	沙加戸弘	法蔵館	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・编者	発行元	備考
詞章本の世界—近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情—	平成20年3月	竹内有一＝編	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター研究報告2
日本操り人形史—形態変遷・操法技術史—	平成19年6月	加納克己	八木書店	
(島津忠夫著作集 第11巻) 芸能史	平成19年3月	島津忠夫	和泉書院	
(近世史研究叢書18) 近松以後の人形浄瑠璃	平成19年2月	黒石陽子	岩田書院	
藤井乙男著作集	平成19年2月	竹野静雄＝編	クレス出版	第一巻『江戸文学研究』、第二巻『江戸文学叢説』、第四巻『文学史』、第六巻『伝記・芸能』、第八巻『解説・解題集』他
芝居小屋と寄席の近代—「遊芸」から「文化」へ	平成18年9月	倉田喜弘	岩波書店	
隠された国家—近世演劇にみる心の歴史—	平成18年9月	川田耕	世界思想社	
演劇入門—古典劇と現代劇—	平成18年3月	渡辺保	放送大学教育振興会	放送大学教材
江戸の声—黒木文庫でみる音楽と演劇の世界—	平成18年3月	黒木文庫特別展実行委員会＝著／ロバート・キャンベル＝編	東京大学大学院総合文化研究科教養学部美術博物館	
仮名手本忠臣蔵	平成17年10月	上村以和於	慶應義塾大学出版会	『演劇界』平成16年1～12月号に連載された「平成忠臣蔵論」に大幅な加筆修正を加えたもの
続文楽の研究	平成17年9月	三宅周太郎	岩波書店	昭和16年創元社発行『続文楽の研究』の改版、岩波文庫
文楽の研究	平成17年8月	三宅周太郎	岩波書店	昭和5年春陽堂発行『定本文楽の研究』の改版、岩波文庫
経験としての物語—人形浄瑠璃の世界	平成17年7月	河村望	人間の科学新社	
歌舞伎 研究と批評 35	平成17年6月	歌舞伎学会	歌舞伎学会	特集「女流義太夫の世界」
中西仁智雄コレクション 浄瑠璃番付写真集 第一～六巻	平成17年3月	早稲田大学内山美樹子研究室＝監修／松茂町歴史民俗資料調査会＝編集	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館	「資料解題」有
舞台の光と影—近世演劇新攷—	平成16年5月	松崎仁	森話社	
(北海道大学大学院文学研究科研究叢書4) 海音と近松—その表現と趣向	平成16年3月	富田康之	北海道大学図書刊行会	
(歴史文化ライブラリー170) 歌舞伎と人形浄瑠璃	平成16年1月	田口章子	吉川弘文館	
江戸東京 娘義太夫の歴史	平成15年3月	水野悠子	法政大学出版局	
ハンドブック 日本の人形戯・人形芝居	平成15年3月	宇野小四郎	銀の鈴舎	
元禄浄瑠璃の展開	平成15年2月	鳥居フミ子	勉誠出版	
(研究叢書287) 説経と舞曲 文学的研究	平成14年12月	肥留川嘉子	和泉書院	
平家物語から浄瑠璃へ—敦盛説話の変容	平成14年10月	佐谷真木人	慶應義塾大学出版会	
人形浄瑠璃の歴史	平成13年7月	廣瀬久也	戎光祥出版	
歌舞伎の根元	平成13年4月	今尾哲也	勉誠出版	
近松門左衛門研究書				
近松浄瑠璃の成立	令和1年6月	大橋正叔	八木書店	
(防府史料 第67・68集) 若月保治著『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』(上・下巻)	平成30・31年3月	防府市立防府図書館＝編集	防府市立防府図書館	『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』(昭和26年4月・新月社)の翻刻
近松時代浄瑠璃の世界	平成31年3月	韓京子	べりかん社	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
歌舞伎 研究と批評 61	平成30年9月	歌舞伎学会	歌舞伎学会	特集「近松(下)上演編」
歌舞伎 研究と批評 60	平成30年4月	歌舞伎学会	歌舞伎学会	特集「近松(上)研究編」
(文春新書1085) 週刊誌記者近松門左衛門 最新現代語訳で読む「曾根崎心中」「女殺油地獄」	平成28年7月	小野幸恵＝著／鳥越文蔵＝監修	文藝春秋	
対訳 湯浅版 近松世話物戯曲集	平成26年6月	湯浅雅子	社会評論社	
近松浄瑠璃の作劇法	平成25年11月	原道生	八木書店古書出版部	
(研究叢書424) 近松浄瑠璃の史的研究 作者近松の軌跡	平成25年1月	井上勝志	和泉書院	
近松世話悲劇の研究	平成24年6月	白倉一由	岩田書院	「近松略年譜」有
近松再発見—華やぎと哀しみ	平成22年11月	神戸女子大学古典芸能研究センター＝編	和泉書院	
(新典社研究叢書208) 近松浄瑠璃の成立と展開	平成22年3月	平田燈子	新典社	
近世考 西鶴・近松・芭蕉・秋成	平成22年2月	日暮聖	影書房	
元禄上方歌舞伎復元—初代坂田藤十郎 幻の舞台	平成21年11月	田口章子＝編	勉誠出版	元禄上方和事復元上演「夕霧七年忌」DVD付
近松世話物の世界	平成21年9月	苅田敏夫	真珠書院	
(ビギナーズ・クラシックス日本の古典) 近松門左衛門『曾根崎心中』『けいせい反魂香』『国性爺合戦』ほか	平成21年8月	井上勝志＝編	角川学芸出版	角川ソフィア文庫。『出世景清』『曾根崎心中』『用明天王職人鑑』『けいせい反魂香』『国性爺合戦』の現代語訳。「近松門左衛門略年譜」有
(河出文庫) 現代語訳 曾根崎心中	平成20年1月	高野正巳・宇野信夫・田中澄江・飯沢匡＝訳	河出書房新社	昭和47年発行『日本古典文庫19 近松門左衛門集』所収の『冥途の飛脚』『曾根崎心中』『堀川波鼓』『心中天の網島』『女殺油地獄』『国性爺合戦』の現代語訳をもとにしたもの
現代に生きる近松—戦後60年の軌跡—	平成19年11月	深澤昌夫	雄山閣	
(角川ソフィア文庫51) 曾根崎心中・冥途の飛脚・心中天の網島 現代語訳付き	平成19年3月	諏訪春雄＝訳注	角川学芸出版	
(研究叢書358) 続近松正本考	平成18年10月	山根爲雄	和泉書院	
(上方文化講座) 曾根崎心中	平成18年8月	大阪市立大学文学研究科「上方文化講座」企画委員会＝編	和泉書院	文楽技芸員と研究者との共同による作品研究。「『曾根崎心中』主要参考文献解題」、「近松門左衛門略年譜」有
近松物語—埋もれた時代物を読む	平成16年11月	渡辺保	新潮社	
(研究叢書322) 近松正本考	平成16年11月	山根爲雄	和泉書院	
(NHKにんげん日本史) 近松門左衛門 日本の芝居の幕が開く	平成16年10月	小西聖一＝著／酒寄雅志＝監修	理論社	NHKテレビ番組「にんげん日本史」より。「近松門左衛門関係年表」有
江戸文学 30号	平成16年6月		ペリかん社	「近松」特集号
近松門左衛門 三百五十年	平成15年12月	近松生誕三百五十年記念近松祭企画・実行委員会＝編	和泉書院	「近松略年譜」有
口伝解禁 近松門左衛門の真実	平成15年11月	近松洋男	中央公論新社	
(近松時代物現代語訳3) 日本振袖始ほか	平成15年9月	工藤慶三郎	北の街社	『当流小栗判官』『日本振袖始』『聖徳太子絵伝記』『下関猫魔達』『天鼓』『善光寺御堂供養』の現代語訳

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
國文學 解釈と教材の研究 第47巻第6号	平成14年5月		學燈社	特集「近松—人形浄瑠璃と歌舞伎の劇場空間」
(学研M文庫) 女殺油地獄	平成14年4月	田中澄江	学習研究社	『心中天の網島』『女殺油地獄』『国性爺合戦』『堀川波鼓』『鍵の権三重帷子』の現代語訳
近松は世界に翔く—「近松国際フォーラム in Yamaguchi」の報告—	平成14年3月	山口県立大学	山口県立大学	山口県立大学創立60周年記念
近松に親しむ その時代と人・作品	平成13年12月	松平進	和泉書院	
(近松時代物現代語訳2) 関八州繫馬ほか	平成13年11月	工藤慶三郎	北の街社	『平家女護嶋』『関八州繫馬』『せみ丸』『けいせい反魂香』『津国女夫池』『双生隅田川』の現代語訳
(平凡社選書216) 近松 母と子、女と男のコミュニケーション	平成13年9月	小林千草	平凡社	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
芸談				
語り芸パースペクティブーかたる、はなす、よむ、うなる	令和3年3月	玉川奈々福	晶文社	平成29年4月～平成30年2月に開催した「玉川奈々福がたずねる語り芸パースペクティブーこの国の物語曼茶羅」講演の記録。豊竹呂勢太夫・鶴澤藤蔵・児玉竜一によるトークと実演
ようこそ伝統芸能の世界―伝承者に聞く技と心―	令和2年4月	森田ゆい	薫風社	(6) 竹本鑑太夫・鶴沢寛太郎・吉田勘弥。特別付録DVD付
12人の花形伝統芸能 覚悟と情熱	令和1年10月	中井美穂	中央公論新社	中公新書ラクレ。(6) 竹本織太夫・鶴澤清志郎・吉田玉助
文楽芸談【三味線 竹澤團七】橋寿のつづやき	令和1年7月	竹沢団七／荒木雪破＝聞き書き	東方出版	
人間、やっぱり情でんなあ	平成30年8月	(7) 竹本住大夫＝著／樋渡優子＝聞き書き	文藝春秋	文春文庫、平成26年発行本の文庫版
道八芸談	平成28年11月	(1) 鶴沢道八＝著／鴻池幸武＝編／武智鐵二＝注解	ぶんがく社	花もよ叢書009。昭和62年11月刊ベリかん社版を復刻、文庫版。『源平布引滝』松波琵琶の段他の録音CD添付
文楽の男 初世吉田玉男の世界	平成28年8月	(1) 吉田玉男・山川静夫	淡交社	淡交新書。平成14年発行本の改訂版
文楽の女 吉田簀助の世界	平成28年8月	(3) 吉田簀助・山川静夫	淡交社	淡交新書。平成6年発行本の改訂版
クロワッサン特別編集 古典の男たち	平成27年10月		マガジンハウス	(7) 竹本住大夫・(3) 吉田簀助インタビューを収録
文楽をゆく	平成27年4月	(2) 吉田玉男	小学館	二代目吉田玉男襲名記念。対談、一門の紹介など。青木信二＝写真
なにわの華 文楽へのいざない 人形遣い 桐竹勘十郎	平成26年5月	(3) 桐竹勘十郎	淡交社	小佐田定雄・くまざわあかね＝構成・編集協力、ヒロセマリコ＝写真
近松門左衛門名作文楽考2 心中天網島	平成25年4月	豊竹咲大夫・尾寄彰廣	講談社	芸談「心中天網島考」・「心中天網島ガイド」・DVD「天満紙屋内より大和屋の段」(平成23年12月15日東京・紀尾井小ホール「豊竹咲大夫の会」素浄瑠璃演奏を収録(三味線は(6) 鶴沢燕三))・DVD「心中天網島 上ノ巻 北新地河庄の段・音で聴く解説」(昭和36年NHKで収録された(8) 竹本網太夫と(10) 竹沢弥七の解説)
近松門左衛門名作文楽考1 女殺油地獄	平成23年4月	豊竹咲大夫・尾寄彰廣	講談社	芸談「女殺油地獄考」・「女殺油地獄ガイド」・DVD「下の巻 豊島屋油店の段」(平成22年10月8日朝日生命ホール「豊竹咲大夫の会」素浄瑠璃演奏を収録(三味線は(6) 鶴沢燕三))
文楽の家	平成23年3月	(9) 竹本源大夫・(2) 鶴沢藤蔵＝著／田口章子＝編	雄山閣	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
文楽のこころを語る	平成21年1月	(7) 竹本住大夫	文藝春秋	平成15年発行本の文庫版。単行本未収録の「寺子屋の段」を追加収録。「七世竹本住大夫略年譜」有
人形有情 吉田玉男文楽芸談聞き書き	平成20年12月	(1) 吉田玉男・宮辻政夫	岩波書店	
なほになほなほ—私の履歴書—	平成20年12月	(7) 竹本住大夫	日本経済新聞出版社	「源氏十二段」床本有
無形文化遺産研究報告 二	平成20年3月		(独)国立文化財機構東京文化財研究所	鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽の裏方—囃子の世界を中心に—吉田篁助師 藤舎秀左久師 望月太明吉師に聞く」を収録。鎌倉恵子『浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演』に再録
日本の古典芸能—名人に聞く究極の芸	平成19年9月	河竹登志夫	かまくら春秋社	吉田文雀「文楽人形遣い 吉田文雀」、(7) 竹本住大夫「文楽太夫 竹本住大夫」を収録
吉田玉男 文楽藝話	平成19年9月	(1) 吉田玉男=談/森西真弓=著	日本芸術文化振興会	国立劇場上演資料集増刊、「吉田玉男文楽略年譜」有
無形文化遺産研究報告 一	平成19年3月		(独)国立文化財機構東京文化財研究所	鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽の鬘・床山の世界—名越昭司師に聞く—」を収録。鎌倉恵子『浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演』に再録
吉田篁助と山川静夫 花舞台へ帰ってきた。	平成19年2月	(3) 吉田篁助・山川静夫	淡交社	
芸能の科学 33	平成18年3月		(独)文化財研究所東京文化財研究所	鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽の昭和から平成へ—吉田文雀師に聞く—」を収録。鎌倉恵子『浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演』に再録
伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究	平成18年3月		(独)文化財研究所東京文化財研究所芸能部	芸能部プロジェクト報告書。鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽—その上演演目 演出 首など—吉田玉男師と吉田文雀師に聞く」を収録。鎌倉恵子『浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演』に再録
芸能の科学 32	平成17年3月		(独)文化財研究所東京文化財研究所	飯島満「二代目鶴沢清八『義太夫 名人の型』—「明治文楽」追懐—」を収録
浄瑠璃素人講釈(上)・(下)	平成16年10・11月	杉山其日庵(茂丸)=著/内山美樹子・桜井弘=編	岩波書店	岩波文庫、増補11編・解題・解説・人名索引有
(岩波現代文庫 文芸85) 綱大夫四季 昭和の文楽を生きる	平成16年6月	山川静夫	岩波書店	昭和49年南窓社発行本の文庫版、「年譜」有
シリーズ・インタビュー 音楽を語ろう	平成15年	教芸音楽研究グループ=編	教育芸術社	「鶴沢清治氏に聞く」を収録
四代越路大夫の表現—文楽鑑賞の手引き—	平成14年6月	高木浩志	淡交社	平成11年9月~平成14年5月に国立劇場上演資料集に掲載の芸談に加筆
文楽・女方ひとすじ おつるから政岡まで	平成13年9月	桐竹紋壽	東方出版	

(叢書名) 書名	発行年月	著者・編者	発行元	備考
名鑑・評伝				
うたかた 七代目鶴澤寛治が見た文楽	平成31年2月	中野順哉	関西学院大学出版会	
文楽 六代豊竹呂太夫 五感のかなたへ	平成29年3月	(6) 豊竹呂太夫・片山剛	創元社	
一日に一字学べば・・・	平成29年1月	(3) 桐竹勘十郎／樋渡優子＝聞き書き	コミニケ出版	
食満南北著『大阪藝談』	平成28年5月	食満南北＝著／神戸女子大学古典芸能研究センター＝編	和泉書院	神戸女子大学古典芸能研究センター叢書2
七世竹本住大夫 私が歩んだ90年	平成27年11月	(7) 竹本住大夫／高遠弘美・福田逸＝聞き手	講談社	(7) 竹本住太夫略年譜有
七世竹本住大夫 限りなき藝の道	平成25年9月	高遠弘美	講談社	(7) 竹本住太夫・(5) 野沢錦系のインタビュー、略年譜、著書・CD・DVD・出演映画作品DVDリスト有
文楽技芸員名鑑	平成16年1月	高木浩志＝文／生駒尚巳＝写真	文楽協会	
上方芸能の魅惑―鴈治郎・玉男・千作・米朝の至芸	平成15年7月	森西真弓	日本放送出版協会	文楽―(1) 吉田玉男
伝統芸能に学ぶ 躰と父親	平成15年4月	光森忠勝	恒文社21	
写真集				
簀助伝	平成27年12月	渡邊肇＝写真／ドナルド・キーン・七世竹本住大夫・三代目桐竹勘十郎＝寄稿	ディアポジティブ	
文楽人形之美 桐竹紋壽写真集	平成22年6月	青木信二・小川知子・出上実＝写真／高木浩志＝文／山崎ゆき絵＝企画構成	草場書房	
河原久雄文楽写真集	平成21年5月	河原久雄＝写真／橋本治＝構成	日経新聞社	
文楽 住大夫語り	平成20年4月	ヒロセマリコ＝写真	アートダイジェスト	
文楽 吉田玉男	平成15年1月	小川知子＝撮影／(1) 吉田玉男＝著	演劇出版社	平成3年9月日本経済新聞連載「私の履歴書」を収録、「初代吉田玉男略年譜」有
吉田簀助写真集 文楽・女たちに魂をこめて	平成13年5月	青木信二＝写真	淡交社	「三代吉田簀助略年譜」有

(叢書名)書名	所収作品
全集所収作品	
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第七期十卷)』 鳥越文蔵・内山美樹子=監修 義太夫節正本刊行会=編 令和4年 玉川大学出版部	63[前内裏島王城遷]64[将門冠合戦]65[伊豆院宣源氏鏡]66[柿本紀僧正旭車]67[万葉女阿漕]68[歌枕楳棠花合戦]69[東鑑御狩卷]70[玉藻前曦袂]71[恋女房染分手綱]72[増補用明天王ノ八曲筐掛絵]、全巻に解題・「義太夫節人形浄瑠璃上演年表(一七一九一七五二)」有
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第六期十卷)』 鳥越文蔵・内山美樹子=監修 義太夫節正本刊行会=編 令和2年 玉川大学出版部	53[傾情山姥都歳玉]54[敵討鑑樓錦]55[茜染野中の隠井]56[入鹿大臣皇都諍]57[児源氏道中軍記]58[遊君衣紋鑑]59[増補大仏殿■【萬+代】礎]60[女舞劔紅楓]61[新板累物語]62[文武世継梅]、全巻に解題・「義太夫節人形浄瑠璃上演年表(一七一九一七五二)」有
(新潮日本古典集成) 『浄瑠璃集』 土田衛=校注 令和1年 新潮社	傾城八花形、傾城三度笠、仮名手本忠臣蔵、桂川連理柵
(新潮日本古典集成) 『近松門左衛門集』 信多純一=校注 平成31年 新潮社	世継曾我、曾根崎心中、心中重井筒、国性爺合戦、心中天の網島
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第五期十卷)』 鳥越文蔵=監修 義太夫節正本刊行会=編 平成30年 玉川大学出版部	④③[眉間尺象貢]④④[莠伶人吾妻雛形]④⑤[赤松円心緑陣幕]④⑥[安倍宗任松浦■【竹かんむりに登】]④⑦[太政入道兵庫岬]④⑧[本田善光日本鑑]④⑨[鎌倉大系図]⑤⑩[酒呑童子出生記]⑤⑪[栗島譜嫁入雛形]⑤⑫[物ぐさ太郎]、全巻に解題・「義太夫節人形浄瑠璃上演年表(一七一九一七五二)」有
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第四期十卷)』 鳥越文蔵=監修 義太夫節正本刊行会=編 平成27年 玉川大学出版部	③③[待賢門夜軍]③④[苜蓿桑門築紫■【車+栄】]③⑤[今様東二色]③⑥[釜淵双級巴]③⑦[丹生山田青海剣]③⑧[田村磨鈴鹿合戦]③⑨[花衣いろは縁起]④⑩[百合稚高麗軍記]④⑪[石橋山鎧襲]④⑫[いろは日蓮記]、全巻に解題・「義太夫節人形浄瑠璃上演年表(一七一九一七五二)」有
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第三期十卷)』 鳥越文蔵=監修 義太夫節正本刊行会=編 平成25年 玉川大学出版部	②③[尼御台由比浜出]②④[蒲冠者藤戸合戦]②⑤[本朝檀特山]②⑥[車還合戦桜]②⑦[曾我昔見台]②⑧[元日金歳越]②⑨[万屋助六二代■【衣+氏+巾】]③⑩[丹州爺打栗]③⑪[傾城枕軍談]③⑫[一谷嫩軍記]、全巻に解題・「義太夫節人形浄瑠璃上演年表(一七一九一七五二)」有
『近松浄瑠璃善本集成(全五巻)』 神津武男=編 平成23年 クレス出版	第一巻[薩摩守忠度、本朝用文章、天智天皇、せみ丸]第二巻[大磯虎稚物語、百日曾我、天鼓、曾根崎心中]第三巻[用明天王職人鑑、本領曾我、ひぢりめん卯月紅葉、丹波与作待夜のこむろぶし]第四巻[淀鯉出世瀧徳、兼好法師物見車、碁盤太平記、穉静胎内裙、娥歌かるた]第五巻[持統天皇歌軍法、梶狩劍本地、大塔宮曦鎧、追善重井筒]、第一巻に解題総説、全巻に解題有
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第二期十巻)』 鳥越文蔵=監修 義太夫節正本刊行会=編 平成23年 玉川大学出版部	⑬[河内国姥火]⑭[記録曾我玉笄鬘]⑮[曾我錦几帳]⑯[敵討御未刻太鼓]⑰[南都十三鐘]⑱[梅屋洪浮名色揚]⑲[楠正成軍法実録]⑲⑩[源家七代集]⑲⑪[和泉国浮名溜池]⑲⑫[鎌倉比事青砥銭]、全巻に解題・「義太夫節人形浄瑠璃上演年表(一七一九一七五二)」有
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集(第一期十二巻)』 鳥越文蔵=監修 義太夫節正本刊行会=編 平成18~19年 玉川大学出版部	①[出世握虎稚物語]②[藤原秀郷係系図]③[工藤左衛門富士日記]④[伊勢平氏年々鑑]⑤[尊氏將軍二代鑑]⑥[清和源氏十五段]⑦[京土産名所井筒]⑧[信州姨拾山]⑨[鬼一法眼三略巻]⑩[須磨都源平躑躅]⑪[右大将鎌倉実記]⑫[赤沢山伊東伝記]、全巻に解題・「享保期興行年表」有
『西沢一風全集(全六巻)』 西沢一風全集刊行会=編 平成14~17年 汲古書院	第一巻[新色五巻書、御前義経記、寛潤曾我物語]第二巻[女大名丹前能、風流今平家、傾城武道桜、伊達髪五人男、風流三国志、風流御前二代曾我]第三巻[けいせい伽羅三味線、今源氏空船、国性爺御前軍談、色縮緬百人後家、乱脛三本鍵、熊坂今物語、色茶屋頼卑顔]第四巻[阿漕、井筒屋源六恋寒晒、建仁寺供養、頼政追善芝]第五巻[女蟬丸、昔米万石通、南北軍問答、身替強張月]第六巻[大仏殿万代石礎、北条時頼記、今昔操年代記、年表]

(叢書名)書名	所収作品
『歌舞伎浄瑠璃稀本集成(上下二巻)』 演劇研究会=編 平成14年 八木書店	上巻 [かまた、やしま、村松巻、堀河夜討、八幡太郎旗揃、雁金文七秋の霜、かりがね文七、雁金文七、雁金文七三年忌、雁金文七歌祭文三種、道行揃、出羽角太夫合同、新道行揃、呉竹集] 下巻 [どんらんき、こうぼうのゆらい、都三十三間堂棟由来、日蓮記、けいせい七堂伽藍、源氏供養、曾根崎初夢曾我、曾根崎心中、かんじやう / \ざくろ天神ふなぢのみちゆき(抜本)、一心二河白道さくらひめみちゆき(抜本)]
(新編日本古典文学全集 77) 『浄瑠璃集』 鳥越文蔵・長友千代治・大橋正叔・黒石陽子・林久美子・井上勝志=校注・訳 平成14年 小学館	仮名手本忠臣蔵、双蝶蝶曲輪日記、妹背山婦女庭訓、碁太平記白石噺